

南宋・元代日中渡航僧伝記集成

附 江戸時代における僧伝集積過程の研究

本体 一七、〇〇〇円(+税)
B5判 上製函入・五六〇頁
一〇一三年三月刊行
ISBN978-4-585-21013-9 C3015

榎本 渉 [著]

●本書の特長

◇当該期の日中交通史料の中でも僧伝中には他の史料では知り得ない事実を伝えるものが多々存在する。僧伝の網羅的収集とそれらに対する的確な史料批判により、東アジア海域交流史や仏教文化史研究の基礎史料を提供する。

◇南宋・元代(一一二七～一三六八)において日中を往来したとされる僧侶一〇七名の伝記を網羅・集成。伝記中の渡航記事を抽出し、翻刻した。

◇当該僧伝の史料の信頼度を測る指標として、僧侶の示寂年月日・僧伝の撰者・僧伝の成立時期の欄を設け、また、備考欄に僧伝の成立事情、撰者・撰述依頼者との関係、僧伝主人公との法系上の関係などを示した。渡航の史実が誤伝と考えられるものはその旨も指摘。

◇当該伝記の収録書(僧伝史料集等)、活字・影印本(古版本・写本含む)とその所在を示し、調査・研究上の利用の便を図った。僧伝史料の所在確認は、豊富な仏教史料の整理が必須であり、また特殊な知識も必要とされる。その点からも重要な基礎資料となるものである。

◇僧伝史料を収集・編纂した「僧伝史料集」の書誌情報・内容紹介および収録書目一覧を附し、史料的位置付けを明確にした。

◇対外関係史上、特に重要と考えられる史料は、諸本との対校の上、翻刻を掲載した。

◇論考篇では、入宋・入元僧や渡来宋元僧を含む禅僧の伝記にどのようなものがあり、それらがいかにして今に伝えられたかを明らかにする。これまで等閑に附されてきた近世における僧伝の収集と編纂という営みにメスを入れ、史料論・アーカイブズ論・書誌学等、諸分野における研究の基盤を提供する。

●対象とした渡航僧一覧

※資料篇第三章所収

重源/明庵栄西/唯雅/覚阿/退耕行勇/俊苒/曇照/明全/道元/義雲/寂円/宗円/性才/円爾/神子栄尊/湛海/月翁智鏡/道玄/覚如/定舜/蘭溪道隆/了然法明/無本覚心/無閑玄悟/無象静照/宗純/寒巖義尹/聖兼/藏山/順空/山叟慧雲/徹通義介/寂庵真照/空智/南浦紹明/兀庵普寧/樵谷惟徳/直翁智侃/約翁徳俊/白雲慧暁/大休/正念/龍峯宏雲/西澗子曇/無学祖元/鏡堂覚円/玉山玄提/可庵円慧/愚直師侃/一山寧/石梁仁恭/龍山徳見/遠溪祖雄/峨山韶碩/雪村友梅/東明慧日/無隠元晦/嵩山居中/復庵宗己/孤峰覚明/大智/無雲義天/少林如春/澄円/古先印元/放生光林/靈山道隠/寂室元光/大朴玄素/別源円旨/月林道皎/無外円照/平田慈均/中庭宗可/要翁玄綱/中巖円月/不聞契閑/天岸慧広/一峰通玄/東伝正祖/清拙正澄/古源邵元/友山士徳/明極楚俊/竺仙梵徳/清溪通徹/約庵徳久/空叟智玄/愚中周及/性海霊見/龍田通見/鈍夫全快/独芳清曇/悟庵智徹/能翁玄慧/南海宝洲/無文元選/大拙祖能/金山明昶/椿庭海寿/東陵水瓊/太初啓原/照慧/無我省吾/無方宗応/實中元志/逆流建順/観中中諦/大極以中/秀涯全俊

●史料翻刻

栄西入唐縁起(明庵栄西)/神子禅師年譜(神子栄尊)/神子禅師行状(神子栄尊)/蘭溪和尚行状(蘭溪道隆)/大覚禅師略伝(蘭溪道隆)/直翁和尚塔銘(直翁智侃)/蒙山和尚行状(蒙山智明)/勅諭大本禅師行状(嵩山居中)/孤峰和尚舍利塔銘有序(大極以中略伝(孤峰覚明・大極以中)/広惠禅師伝(大朴玄素)/鈍夫快禅師行状(鈍夫全快)/秀涯俊禅師行状(秀涯全俊)/南海和尚伝(南海宝洲)/無文禅師行業(無文元選)/椿庭和尚行実(椿庭海寿)/信中和尚小伝(信中以篤)

南宋・元代に日中間を往来した僧(一〇七人)の伝記を一覧とし、重要記事を翻刻集成。東アジア海域交流史研究の基礎資料を提供する。

附篇では、日本近世における僧伝伝来・集積の過程を精緻な調査研究により明らかにし、歴史資料としての僧伝を位置づける。

中世海域交流史・史料論・書誌学研究における画期的成果。

南宋・元代日中渡航僧伝記集成

附 江戸時代における僧伝集積過程の研究

榎本 渉 [著]

国際日本文化研究センター准教授

勉誠出版

南宋・元代日中渡航僧伝記集成

附 江戸時代における僧伝集積過程の研究

榎本 渉 [著]

本体 17,000円(+税)
2013年3月刊行
B5判・上製函入・560頁
ISBN978-4-585-21013-9 C3015

| | |
|------------|-----|
| 注文書 | |
| お名前 (ふりがな) | ご住所 |
| お電話番号 | |

勉誠出版 〒101-0051 千代田区神田神保町2-20-6 TEL:03-5215-9021 FAX:03-5215-9025
E-mail:info@bensei.jp Website:http://bensei.jp/

※ご記入いただいた個人情報は、ご注文書籍の発送、お支払確認および、ご希望いただいた方への刊行案内をお送りするために利用し、その目的以外での使用は致しません。

原寸大内容見本

— 第三章 僧伝記一覧表

僧伝撰述に至る経緯、僧伝の性格、同一僧伝の諸本間の異同などについてまとめた。

撰者の名前と成立時期。「撰」「述」「誌」「集」などの動詞も、原文の通りに記載。

僧伝を収録する活字・影印本の所在を記載。原則として原文を収録する本のみを挙げた。特に一般の参照が容易な近代の出版物(活字本・影印本)の整理に力点を置いている。ゴシック表示は、本表「渡航記事」項で底本として採用した本を示す。

「伝記名」は僧伝のタイトルを記載。「収録書」は、僧伝が語録・詩文集や僧伝史料集の一部として伝わった場合に記載。

第三章 南宋・元代日中渡航僧伝記一覧表

| ○ 伝記名 | 収録書 | ○ 活字・影印本(古版本・写本) | ○ 撰述 | ○ 備考 |
|--------------|--|---|---|---|
| | 集古録 | (史料編纂所6101.4:176 南窓先生荷菱文庫蒐集史料 玉村竹二ノート写真 京都東福寺霊雲院蔵本筆写) | | に改めたものか。 ・『入唐諸家伝考』所引、戒光寺再興勸進帳(1557年4月付)は、1215年入宋、1220年帰国とする。 |
| 東国高僧伝・10 | 大日本仏教全書・104(仏書刊行会版) 大日本仏教全書・62(鈴木学術財団版) | | 高泉性激 1687/5 自序 | |
| 律苑僧宝伝・11 | 唐招提寺・律宗戒学院叢書・2 (元禄2年版写真) | 大日本仏教全書・105(仏書刊行会版) 大日本仏教全書・64(鈴木学術財団版) | 戒山慧堅、撰 (近江安養寺) 1687/7~12 自序 | |
| 続日域洞上諸祖伝・附録 | 曹洞宗全書・16 | 大日本仏教全書・110(仏書刊行会版) 大日本仏教全書・70(鈴木学術財団版) | 徳翁良高、編 (備中西来寺) 1708/9/下流序 | ・道元の記すところに抛り、良高が私に略伝を作り附す。 |
| 元祖孤雲徹通三大尊行状記 | [吉田道興1992b](石川県大乘寺本を底本に愛知県長円寺本・小間氏本・惣持寺来由記と対校) | 大日本仏教全書・105(仏書刊行会版) 大日本仏教全書・64(鈴木学術財団版) | 門人、集記 1253~1325? *「門人」=徹通義 ある説あり [95] | ◎道元—孤雲懐奘—徹通義介—瑩山紹瑾 ・伊藤秀憲に抛れば、三大尊行状記に取 懐奘伝・ 義介 は |

入宋・入元・来日の年代順に配列した。渡航年代が不明瞭な場合は諸史料より年代を推測し配列した。また判明する場合は、僧の示寂年月日と、『大日本史料』卒伝の収録頁も付記した。

資料篇

| No | ○ 名前 | 渡航記事(日本→中国) | 渡航記事(中国→日本) |
|-----|---|---|---|
| [7] | [曇照] | 【第一次】 特往中華顯孝寺、重受律学。 【第二次】 天福(1233~34)初、再遊中華。 【第一次】 以建保二年春、越漠南遊。值寧宗嘉定七年。 【第二次】 天福初、再入宋。 | 【第一次】 及帰。当安貞二年。 【第二次】 徧尋聖迹、多得仏像梵夾而帰。 【第一次】 及帰。当安貞二年也。 【第二次】 徧尋聖迹、多得仏像梵夾而帰。 |
| 8 | 明全 1225/5/27 示寂 延宝伝灯録・6 本朝高僧伝・19 大日本史料卒伝 = 5-1:796 頁 | 貞応二年癸未(1223)、奮然決志、二月二十二日、遂同道元・高照・廓然等、出建仁、赴博多、附載于商舶放洋、風浪歴日到明州。乃寧宗嘉定十六年也。 | (帰国せず) |
| 9 | 道元 1253/8/28 示寂 扶桑禅林僧宝 伝・1 | 遂隨従明全、航海入宋。日本貞応二年癸未(1223)、大宋嘉定十六年也。 | 師受付囑、而帰於本国。即大宋宝慶三年丁亥歳(1227)、当日本安貞元年丁亥歳。于時廿八歳也。 |

❖ 目次

● 資料篇

第一章 本書の趣旨

史料としての僧伝
僧伝の史料的価値
『統群書類従』の壁を越えて
中世僧伝はいかにして保存されたか

第二章 南宋・元代日中渡航僧伝記一覧表の作成方針

僧伝採否の基準
伝記一覧表の凡例：「名前」/「渡航記事」/「伝記名」/「収録書」/「活字・影印本」/「撰述」/「備考」
一覧表所引書籍の書誌など：活字・影印本/僧伝史料集書誌/僧伝一覧表未収僧伝集

第三章 南宋・元代日中渡航僧伝記一覧表

※パンフレット裏面に詳細情報・上段に原寸大見本

第四章 僧伝史料集所収書目一覧

『統群書類従』伝部/「禅林僧伝」/「名僧行録」/「正光庵本」諸祖行実/天徳院本「禅林諸祖伝」/「扶桑禅林諸祖伝」/「諸師行実」/「諸祖伝」/「日本僧宝伝」/「本朝僧宝伝」/「聖」法嗣列祖記/「東福諸祖行状」/「諸祖行状碑銘」/「諸師行録」/「禅林諸祖行状」/「達磨寺中興記 他」/「本邦諸師行状塔銘」/「諸祖行実并塔銘」/「古徳行状像賛」/大徳寺系僧伝史料集(「禅宗古徳行状」含む)

● 論考篇

第二章 『統群書類従』伝部の成立

『統群書類従』の編纂過程
「禅林僧伝」と「名僧行録」：「禅林僧伝」と「統群書類従」/「禅林僧伝」諸本の比較/「名僧行録」の内容
「統群書類従」伝部と「禅林僧伝」「名僧行録」：「統群書類従」の底本/僧伝の配列の意味
「諸祖行実」の検討：「諸祖行実」の伝来/「諸祖行実」利用の痕跡

第三章 『禅林諸祖伝』の編纂とその背景

「禅林諸祖伝」の書誌：天徳院本(加賀藩旧蔵本)/水戸藩本/諸本の比較
「扶桑禅林諸祖伝」の書誌：伝来/構成/「禅林諸祖伝」との関係
「禅林諸祖伝」の先行史料：門派単位の僧伝集成—臨済宗の場合/門派単位の僧伝集成—曹洞宗の場合/諸門派僧伝の集成/門派を越えた僧伝収集の背景/京都五山における僧伝収集状況/五山寺院の由緒集成/「禅林諸祖伝」成立の前提

第三章 僧伝収集家たちの活動と成果

僧伝集編纂の概略：古代・中世の僧伝集・僧伝史料集/近世初頭の僧伝集/黄檗僧の活躍と高泉性激/卍元師蛮の事蹟/近世の僧伝集編纂の盛行/曹洞宗の僧伝集刊行と清初仏教
僧伝収集家たちの活動：僧伝収集家「予」/剛室崇寛/虎林中度/皆山亭の永風子/「名僧行録」「本朝僧宝伝」の夢窓派僧伝をめぐる
林家の修史活動と僧伝：「禅林僧伝」各冊の検討/「禅林僧伝」の成立/林羅山と「日本祖師伝」/「禅林諸祖伝」と「日本祖師伝」
僧伝集積の過程：共有される僧伝/「僧伝収集の世紀」の終焉

附論 種々の僧伝史料集

「諸師行実」下冊・相国寺慈照院本「諸祖行実」
「日本僧宝伝」
「聖」法嗣列祖記
「東福諸祖行状」
「諸祖行状碑銘」
妙心寺龍華院所蔵史料
建仁寺両足院所蔵史料
その他の僧伝史料集
「日本名僧伝」「五山名僧小伝」「五山群鑑考」

出典一覧

引用文献/引用史料

史料翻刻

※パンフレット裏面に詳細情報

索引

人名/資料名/寺院名